

無 毒 燈

MUJINTO

No.147

2022

特集

- 輝く☆同窓生 職域同窓会の可能性について考える
- 大谷大学と私 小谷 信千代 名誉教授



輝く☆ 同窓生

たぐち たかひろ
田口貴大さん (京都市教育委員会(小学校))
(2009年度・文学部文学科卒)

まんき ひろや
萬木宏哉さん (社会福祉法人七野会)
(2013年度・文学部社会学科卒)

インタビュー 無盡燈編集委員 采華 晃(大谷大学教授) 対談日 2022年2月

情報交換の場、学び直しの場、皆の熱意を感じる場 これからの職域同窓会の可能性を考える

— 職域同窓会の「教職」実行委員長の田口貴大さんと、同じく「福祉」実行委員長の萬木宏哉さんに来ていただきました。学生時代から今のお仕事にどうつながったのか、教えてください。

萬木 高校生の頃から何となく福祉には興味がありました。同時に、演劇や芝居にも興味があり、そこで、演劇サークルがあることを条件として福祉の勉強ができる大学を選んだところ、大谷大学に入学することになりました。

しかし、学生時代は、ほとんど演劇部の活動ばかりやっていて、福祉の勉強が楽しくなりはじめたのは第二学年の頃です。志藤修史先生のゼミに入っていたのですが、志藤先生は、社会福祉協議会とのつながりが深く、夏休みに南丹市社会福祉協議会の生活実態調査員として参加させていただく機会がありました。そこで地域の家を一軒一軒訪問して、その地域で生活する上での問題や課題など、そこで生活する人の生の声に触れることができました。特に南丹市の美山町はお年寄りが多く、福祉はおもしろいんだと感じ始めて、だんだん高齢者福祉の方に興味が出てきました。そうしたら志藤先生のゼミの先輩がたまたまアルバイトをしていた認知症高齢者グループホームにアルバイトで入ることになり、どんどん福祉にのめり込んでいって、それで今の職場に就職しました。



萬木 宏哉さん

— 福祉のどんなところに興味をお持ちになったのですか。

萬木 福祉って幅広いじゃないですか。児童・障がい者・高齢者・地域いろいろな分野がありますが、僕にとっては



はお年寄りとの関わりが何かほのぼのとしていて、そういう部分がマッチしたんでしょう。フィールド

ワークでお世話になった田舎のお年寄りの人たちとの関わりの中で、もっと高齢者福祉を知ろうと思いました。

— そうすると、演劇も福祉もどちらも大学に入る前からということなのですね。

田口さんは教職を目指して入ってこられたのですか。

田口 もともと、私はまったく国語ができませんでした。何を言っているのか全く分からなかった古文が、高校で出会った先生の影響でおもしろいと思えるようになりました。自分もそんな先生になれるといいなと、中学・高校の国語の教員免許が取れる文学科に入学しました。入学後、神戸親和女子大学と提携した通信教育で小学校教員免許が取得できるという制度ができ、取得しました。通信教育とはいつでも、体育や音楽など実技系のスクーリングもあり、かなりハードでした。教員免許のことばかりで、気がついたら四年間が終わっていました。その時、一緒に勉強してきた仲間とは今もつながりがありますし、良い出会いだったと思います。



田口 貴大さん

— 一緒に勉強してきた仲間とのつながりというのは、萬木さんもありますか。

萬木 そうですね。大谷大学の社会学科社会福祉学コースの人たちは、やはり福祉の現場に就職される方が多いです。別の法人の友人と会うと、お互いに「しんどいな」と愚痴を言ったり、「こんなことを頑張っている」という話をしてお互い高めあっています。

田口 私も、同級生の何人かは、同じ京都市の小学校に勤めているので、研修で一緒になることもあります。一緒にの学校に勤務する可能性もあるので心強いですね。もっと言うと、谷大の教育・心理学科を卒業した後輩が、今同じ職場にいるということもあり、谷大つながりで関係が広がっていくのは、とてもうれしいです。

今、谷大出身の教員が増えてきているので、そのうち



教員を目指す後輩にアドバイス

同じ職場に谷大出身者が何人もいるようなことだって起こりそうです。

萬木 福祉の業界でも、ちょっと会話をしていると「谷大卒なんや」と言い合ったりとか、

大谷大学の現役学生がアルバイトで来てくれることもありますね。そういうのは結構心強いですよね。同じ大学の卒業生ということで、最初のとっかかりができるというのは大きいですね。

— 大谷大学卒業後現場に立たれ、大学時代に学んだことで改めて気付いたことはありますか。

萬木 大谷大学って、他の大学と比べたらコンパクトな感じがありますよね。学生どうしの距離も学生と先生との距離も近いです。私の職場もわりとこじんまりしていますが、大学時代の経験のおかげで、そういう環境での人との距離の取り方みたいなところは、今の職場でもスムーズにできていると感じます。

大谷大学にあるのは介護福祉士を養成するコースではなくて社会福祉士養成のコースです。介護の技術云々というよりは「社会福祉士とは」といったことを様々な社会問題を交えて教えてくれるのですが、社会福祉士の勉強はなんか難しいのです。けれど、福祉の現場に入ってから先生が言っておられた社会問題ってこういうことなのかといったことが、働くなかでどんどん結びついていくとか、やっとなりに落ちてくるみたいなことが多いです。



職場の様子

田口 文学科の授業で交流していた人たちという時と、教職を目指していた人たちという時とは、意識的にも違うものがありました。文学科は、国語が好きで学びたいと思って入ったところなので、自分の関心に沿った学びの場でした。文学科での学びもちろん教職に活かしている部分はありますし、ある意味で期待していたとおりの方向性です。それに対して、教職を目指す人たちとの関係では少し違いました。仲間たちと一緒に勉強した教職



お世話になったアドバイザーの先生と

の理論的なことは、当時はどこか抽象的なものだったのですが、現場に立っているとその抽象的な理論と具体的な状況との結びつきが見えてくることがあります。また、よく利用していた教職支援センターでは、仲間とだけの会話で終わるわけではありません。アドバイザーの先生方が仰ったことなども頭のどこか片隅にあって、先生の言葉がふっと湧いてくることがあります。

こういったことは、やはり人数がこじんまりしている分、密に相談できる環境にあったからだと思います。ふっと何かのときに思い出されるというのは、それだけ私の深いところに刻み込まれていたんだと思います。卒業してもう10年になりますけれども、いまだに色々感じさせられます。

— お二人は職域同窓会の実行委員長として中心的に関わっていただいています。この2年は、コロナのために開催できませんでした。むしろ、この2年間で職域同窓会の価値を振り返ることができたかも知れません。

田口 教職の職域同窓会はもう3回やりましたが、いろいろな年齢層の方が参加してくださいました。その中には、経験豊富な先生方もおられます。そこで何気なく話したことが、現場に戻ったときにこういうことなのかと気づくことがあります。

また、公立小学校という点では同じでも、働いている自治体が違うと、色んな点でやり方も違います。自分とは違う環境にいる人と接することで、新しい発見がありました。



職域同窓会「教職」(2018年度)



職域同窓会「福祉」(2019年度)

限られた時間でしたが有意義な会となりました。逆に大学の後輩たちも参加する中で、新しいつながりができたという側面は心強さにもつながります。一年に一度しか会わなくても何かそういうつながりがあると、また次頑張ろうと思えます。

— 教職の職域同窓会は、同窓会本部から教職に就いている同窓生のために交流の場ができないかという話があったようですね。

田□ 職域同窓会のお話をご提案いただいて、開催するにあたり幼稚園・小・中・高という全体にまで広げてみることにしました。実際にそれぞれの園や学校から来てくださっていました。そういう広がりみたいなものもやっぱり重要なかなと思います。

萬木 福祉の職域同窓会は一回しかやっていないですし、しかも2時間ぐらいの限られた時間でした。それでも、久々に会う先生や同窓生たちと話すきっかけができたのは良かったなと思いました。それと、違う分野で働く方と「こんなことを頑張ってる」、「こんなに大変なんだね」という話ができる。普段からの思いを少しでも共感し合えて、元気をもらえました。



福祉は幅広く、私たちの生活の中でのいろいろなものが絡み合っています。職域同窓会では、障がい者関係の仕事をしている方もいるし、在宅ケアの仕事をしている方もいました。

領域の広さはかなりのものだと思います。初めて会った方で、不登校の子どもを支援するための仕事を始めようかという方もいました。そういう人も福祉で幅広く関わっている仲間なのだと思えました。

田□ 同じことは学校教育でもあるのかもしれないと思います。今、「ヤングケアラー」といった言葉が出てきています。新しい言葉が出てくるといことは、新しい現

実が明らかになってきたということでもあります。いろいろな背景を抱えている子どもがいるということは日々感じます。不登校のそういう支援をしておられる方が福祉の職域同窓会に参加しているということは、また教職の方とも結びつく可能性もありますね。

そう考えると、毎年というわけではなくとも、何年かに一度は合同でやって、それぞれの分野を接続するようなことがあってもいいかも知れないですね。

— ここ数年でオンラインという方法が急速に注目されるようになりました。オンライン飲み会とかはなされたことがありますか。

田□ あります。しかし、結局は同じものを共有していないし、何かよそよそしいというか、お酒ばかりが変に進んで酔っぱらってしまいました。やはり、参加して良かったなと思える企画があることが大前提です。2時間では物足りなかったなと思えるような、参加して良かったなという「お土産」があったらいいなと思います。

「教職」では、懇談会の前に2018年度は岩淵信明先生が、2019年度は谷口奈青理先生が講演してくださいました。私たちに関係のある内容だったので、良かったと思います。そのあと懇談会にも来てくださったので、さらに講演のことを聞くことができました。



谷口教授の講演会(2019年度)

萬木 私はオンライン飲み会はやったことがありません。会議とか研修はオンラインでやりますけれども。

オンラインは、年配の人たちにとってはパソコンの画面を長い間見ていることがしんどかったりするし、長時間は無理だなと思います。皆が集まった場所で先生の講義をオンラインで聞いて、その後、みんなで意見交換するのだったらやりやすいのでしょうか。

田□ 対面ではマスクをしています。オンラインだったらマスクを外しています。でも、画面というフィルターを通してみると相手が何を思っているかぜんぜん分かりません。すでに気心の知れた人たちとならば、オンラインでも大きな意味があるように思いますが、小規模なオンライン同窓会と、自分の世界観を新たに構築していくような同窓会と、両方開催できるといいですね。

— 教職の会は講演があってそのあとに懇談会でしたが、福祉の方ではどうでしょうか。

萬木 個人的には講演会があれば嬉しいです。ついこの間受けた研修で、社会学科の中野加奈子先生が講師を務めておられました。大学の先生が学生向けに話すのと、現場で働いている人向けに話すのでは、やはり内容が違います。それに、学生の頃はトンチンカンだったことが、今だったら凄く頭に入ってきたりします。ですから、講演とセットというのは、いいですね。

— 大学での「学び直し」という言葉がありますけれども、「学び直し」の必要を感じる社会生活を送られているというのは、教員として本当にうれしいです。

田口 教師の仕事もそうですし、福祉の仕事でもそうですが、人間の在り方が変わっていています。人との関わり方は常にアップデートしないといけないですよ。あるいは、いま直面しているこの状況は一体どういうことなのかということ、ちょっと離れた視点から見直す必要もあります。でも、離れた視点から見るということは現場にいるとなかなか難しいのも事実です。そういう意味では、「学び直し」の場としての同窓会というのは大きいと思います。



— 例えば、講演ではなく、現場で働く同窓生が報告者になって、ワークショップみたいな感じで開催してはいかがでしょう。

萬木 それだったらオンラインでもできそうですし、オンラインとオンサイトとの半々でもできそうですね。集まれる人は集まって、オンラインからも覗きに来る、みたいな。

田口 そういうワークショップ形式なんかは、同窓会というある程度の枠組みがある方がかえって話し易いかもしれませんね。ちょっと生々しい声が聞ける同窓会というものがあってもいいかもしれません。このコロナ禍でデメリットはたくさんありますけれども、オンラインという手段が一般化したというのは一つのメリットかもしれません。別にオンラインの方が良いとは思わないですけども、オンラインという選択肢が増えたというのは事実なので、同窓会の持ち方においてもオンラインだからこそ便利な在り方というのがあるかもしれないですね。

萬木 そうですね。いろいろなかたちで盛りあがるようにするといいですね。



職域同窓会「教職」第1回は、教員を目指す学生の演奏会も実施(2017年)

— 職域同窓会をやってみて、具体的にどういうところが役に立ちましたか。

萬木 皆さんの熱意に触られたというのが一番かもしれません。違う分野で働いている人たちでも対人援助に対する考え方は共通しているところが多いです。それに、やはり福祉の人は話を聞いてくれる人が多いのです。みんな話をしたいし、話を聞いてくれるし、お互いにウィン・ウィンという場でした。そういう意味では大きなメリットがありました。

田口 教職に就いている人も話好きな人が多いです。ワークショップみたいなものでそのテーマさえぶれずに決めておいたら、話してくれる人はかなりいると思います。ワークショップみたいなものだったら、現役の学生さんにも参加してもらえるかも知れません。

萬木 ワークショップだと、福祉関係でもいろいろ集まってなんかやるということもできるかもしれないですね。

— 職域同窓会には様々な可能性があると思います。しかし、何が求められているかは、同窓会本部では掴みかねます。そのため、実際に働いていらっしゃる方々からアイデアを出してくださると大変有り難いです。事例がたくさん集まってくると、「同窓会にはこんな形もあるんだ」とこちらも勉強になります。これからもぜひご意見を聞かせてください。本日は、お忙しいところありがとうございました。



大谷大学と私



名誉教授
小谷 信千代

真の学問 真の恩師

この度、インド政府による国際的な賞「仏教学振興賞*」の第一回の受賞者に大谷大学が選ばれた。本学に留学し、現在仏教学科の教授として教鞭を執られているインド出身のダシュ・ショバ・ラニ教授が申請の任にあたられて、賞が授与されるに至ったと伝え聞いた。大谷大学が、南条文雄、赤沼智善、鈴木大拙、山口益という蒼々たる仏教学者を輩出した歴史を有することが認められての受賞であると考えられる。

そのような伝統のある優れた研究環境に身を置きつつ、恥ずかしいことに、私自身は仏教を学ぶことの真意が分からず、学問に喜びを見いだせず、宗門大学として折あるごとに説かれる念仏の教えにも喜びを見出せないでいた。研究・教育に携わる者としての責務と考えて研究をし、その成果を論著に著し、寺院をあずかる僧侶の勤めとして念仏の意味を聖典のなかに求めることに努め、理解し得た限りのことを門徒の人々に語るために学習会を開いてきた。それが自分にできる精一杯の努力であった。しかし、そのような営みにさほどの喜びを感じることができなかった。

それが、いつどのようにして起こったのかは分からない。ふと気がつくと、仏教を学ぶことが有難く、念仏を称えることが有難いと思えるようになっていた。傘寿も近い歳になってようやく、お朝事のお勤めに本堂に行く度に父や恩師の姿を偲びつつ「南無阿弥陀仏」と称えると、今も仏教を学び続けておれることと念仏を称えることの有り難さが自然に感じられるようになってきた。奇妙な言い方に聞こえるかもしれないが、そう思えるようになっていくこと、そのことが有難いことに思われる。いまは、それは「大谷大学」が与えてくれた恩師との繋がりが、仏教を学ぶことを有難く思ふ念仏を喜ぶ感覚へと私を導いてくれたに違いないと思われる。

私にとっての恩師は故櫻部建先生である。南条文雄を初めとする先生がたの学問を心から敬愛して継承され、その見識が世界的に知られ、内外から多くの研究者が訪れる優れた研究者であった。先生はいつも研究熱心で、お元気な頃は研究室を訪ねて下さり、傘寿を超えられてもしばしば電話を下さって「いま何を研究していますか」「いま何を読んでいますか」と尋ねて、私の研究の進展ぶりに関心をもって下さった。研究の前では師弟関係という慮りはなく、率直にご自分の疑問を問われ、ご自分の考えを述べられた。先生には研究の話が何よりも楽しいことであった。その話の合間に、前後の脈絡なくボソッと「われわれに念仏があるということは有難いことですか」と呟かれることがしばしばあった。先生の呟きを思い出しつつ念仏を称える時、仏教の勉強が続けられていることが喜ばしく、念仏を称えることが喜ばしく思える。今にして思えば、大谷大学は私にとって、真に学問を敬愛し念仏を喜ぶ恩師に出会えた場であった。「大谷大学」を通して今も先生から教を受けているように思われる。

略歴紹介

おだに のぶちよ
小谷 信千代 名誉教授

- 1944(昭和19)年 5月 兵庫県に生まれる
- 1967(昭和42)年 3月 大谷大学文学部卒業(仏教学)
- 1975(昭和50)年 3月 京都大学大学院修士課程修了(宗教学)
- 1978(昭和53)年 3月 大谷大学大学院博士課程満期退学(仏教学)
- 1984(昭和59)年 4月 大谷大学専任講師
- 1990(平成 2)年 4月 大谷大学助教授
- 1998(平成10)年 4月 大谷大学教授
- 1999(平成11)年12月 大谷大学博士(文学)<学位取得>
- 2002(平成14)年 4月～2004(平成16)年 3月 大谷大学短期大学部長
- 2008(平成20)年 4月～2010(平成22)年 3月 大谷大学大学院文学研究科長
- 2010(平成22)年 4月 大谷大学名誉教授

【専 門】

仏教学(インド・チベットの仏教の研究)

【著 書】

- 『俱舍論の原典研究』(共著・大蔵出版)
- 『大乘莊嚴經論の研究』(文栄堂)
- 『法と行の思想としての仏教』(文栄堂)
- 『浄土仏教の思想 三』(共著・講談社)
- 『真宗の往生論』(法蔵館)
- 『親鸞の還相回向論』(法蔵館)

【訳 書】

『俱舍論の原典解明 賢聖品』(共訳・法蔵館)

【鈴木学術財団特別賞受賞】

- 『アーラヤ識とマナ識の研究』(共訳・文栄堂)
- 『仏教瑜伽行思想の研究』(共訳・文栄堂)
- G. ショベン著『大乘仏教興起時代 インドの僧院生活』(春秋社)

他

*「仏教学振興賞」についての詳細はP.14をご覧ください。

同 窓 通 信



善く生きるために学ぶ

ある日の勤務後、帰り支度をしようとするところで上司に呼び止められ、一枚の書類を渡された。わが母校大谷大学から同窓会報への寄稿の依頼であった。まさか自分がそんなものを書く日が来るとはつゆも思わず毎日を過ごしているので、どういったものを書けばいいのか悩んだ。内容は「在学時の活動等を通して現在の仕事や生活に活かしていること」とのこと。私の場合は何になるのか、ふと頭をよぎったのは第一学年の頃の人間学の講義である。

必修科目であった人間学の講義で触れた言葉で、今もふと思い出す言葉がある。「善く生きるために学ぶ」。担当の藤元雅文先生がおもむろに板書した。善く生きるとはなんなのか。人と関わり自ら考え、そして人生において様々な選択肢を選び、生きていくために学ぶ。それが人間学なのではないだろうか先生はつづけた。その時の私は分かったような分からないようなといった具合だったことを覚えている。

大谷大学の卒業後に選んだ就職先は近畿日本鉄道。入社後様々な研修を終え、いよいよ制服を身にまとい、駅員としてお客様の前に立つ。毎日多くのお客様が駅をご利用される。私は制服を着ているのだからお客様とは駅員として接する。そこには入社3か月だからという免罪符はない。時にはご迷惑をおかけし、お叱りを受けたことも。

現在は車掌として勤務しているが、駅員でも車掌でもご利用いただいているお客様に接して日々仕事をすることに変わりはない。大谷大学の学生の皆様をはじめ、ひとりひとりのお客様にできる限り満足して近鉄をご利用いただくために自分は何をすべきか。日々の仕事を

2017年度・文学部社会学科卒 たに 溪

ひびき 響 (近畿日本鉄道株式会社)

通して様々な発見がある。そしてその毎日が学びの場なのであると改めて実感する。

そういった時にふとあの人間学の講義で聞いた「善く生きるために学ぶ」という言葉を思い出す。今の自分の生き方はどうであろうか、答えが出るものではないのかもしれない。しかし考え思いをめぐらせることもまた、あの時先生が伝えたかったことなのかもしれない。毎日の仕事のなかで新たな発見や学びをする、これもまた私にとって「善く生きるために学ぶ」人間学なのであろう。



大谷大学指定推奨

大谷大学女子学生専用

プラーサーダOtani

2021年3月築

大谷大学まで徒歩4分。
家具付きのシェアハウスです。



株式会社 **フラットエージェンシー** 北大路駅前店 TEL: 0120-44-0669

宅地建物取引業免許番号 京都府知事免許 (9) 第7189号 公益社団法人京都府宅地建物取引業協会会員 公益社団法人近畿地区不動産公正取引協議会加盟店 取引態様 <貸主>

同窓会活動報告

2021 Alumni Activity Report

学生たちに支援を行いました!!

◆ 谷大生応援プロジェクト

前年度に続き、2021年11月13日(土)の学園祭期間中に新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している学生のために「谷大生応援プロジェクト」として、同窓会地域支部を中心に多くの同窓生の皆さまからレトルト食品などの食料品の提供をいただき、学生に配付しました。



全国からご提供いただいた品々

9月上旬から食品のご提供を呼びかけたところ、同窓会役員・支部をはじめ、同窓会員や教育後援会員、教職員の皆さまから4,000食以上の温かいご支援を賜りました。ご提供いただいた食品は、10食(5日分)を1袋に仕分け、440人の学生に配付させていただきました。

配付時は長蛇の列ができるほどの盛況ぶりです、開始2時間で終了となりました。



尋源館の同窓会本部前で配付

また、当日はテレビ朝日より取材依頼があり、提供品を受け取った学生達がインタビューに応じていました。(この様子はテレビ朝日の全国放送「サタデーステーション」で放映されました。)



取材時の様子

◆ 同窓会支援丼

新型コロナウイルス感染症により困窮している学生を支援する一環として、年間を通して「同窓会支援丼」と銘打ち、通常価格360円(テイクアウト400円)の丼を200円で提供できるよう補助を行いました。



密を避けるため、昼休みの食堂利用を学部ごとで制限していたこともあり、カフェでも丼をテイクアウトで販売し、連日売り切れになるほどの盛況ぶりでした。



同窓会支援丼(テイクアウト)購入の様子

◆ 韓国同窓会会長 ^{キム デシク} 金大植氏が韓国・慶南情報大学の学長に就任

この度、本学卒業生の金大植氏が韓国・慶南情報大学の学長に就任されました。

金大植氏は、本学韓国同窓会会長として、韓国での同窓会の開催や、本学からの留学生との交流活動にもご尽力いただいております。

金大植氏のますますのご活躍を祈念いたします。



韓国釜山で開催された第3回韓国同窓会(2019年)

金大植氏…韓国出身、大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教文化専攻(1998年度修了)、大谷大学文学博士、大谷大学韓国同窓会会長(写真:後列右から3人目)

◆ 2021年度菩提樹賞受賞者

2022年3月18日(金)の卒業証書並びに学位記授与式当日、同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式を行いました。
 この「菩提樹賞」は、卒業・修了年次生のうち、在学期間中に学術・文化・スポーツ・ボランティア活動などの分野で顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生又は課外活動団体を表彰し、今後のご活躍を願って同窓会より贈るものです。

【2021年度受賞団体<文化・ボランティア分野>】

「コミュニティメディアプロジェクト」

卒業年次生16名 代表：進士 凌希さん
 (社会学部コミュニティデザイン学科卒業)

「コミュニティメディアプロジェクト」の活動では、大学のある北区北大路エリアの地域に密着した情報を取材し、コミュニティラジオ局での毎週の放送、地域情報サイト「キタキタ!」、情報誌「キタキタ!」を通じた情報の発信に取り組んでこられました。



(左)進士さん、(右)下岸さん



懇談の様子

「中川学区の暮らし再発見プロジェクト」

卒業年次生8名 代表：下岸 由宜さん(社会学部コミュニティデザイン学科卒業)

「中川学区の暮らし再発見プロジェクト」の活動では、2015年度から続く本プロジェクトをさらに発展する取り組みとして、地域で昔から親しまれてきた「まんま茶」を使用し、NPO法人与共同でオリジナルビールを開発しました。また、その売り上げの一部を活動資金にあて、継続的な活動の可能性を作り出したことで、新聞やSNSで取り上げられ大谷大学を広くアピールしてくれました。



コミュニティメディアプロジェクト



中川学区の暮らし再発見プロジェクト

2021年度も前年度同様、新型コロナウイルスの影響で卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会が中止となりましたので、学内において表彰式を執り行うこととなり、一楽理事長(当時)から表彰状と記念品が贈られました。

今回の受賞にあたり、進士さんは「後輩たちにも地域との交流をより深めていってほしいです。」と、下岸さんは「活動が表彰され光栄です。今後のプロジェクトの発展が楽しみです。」と感想を述べられました。



大谷大学「ハッピーアワー!」放送中



オリジナルビール「まんまビール!」

中川学区茶摘みの様子

2022年度の同窓会活動について

最新情報はこちらをチェック！

大谷大学同窓会



◆ 同窓会総会開催

2022年5月11日(水)、2022年度の同窓会総会が開催され、以下の議題が承認されました。

- 議 題 (1)2021年度事業報告及び収支決算報告
 (2)役員の変更について
 (以下、2022年度役員一覧参照)
 (3)2022年度事業計画及び収支予算(案)

- 協議事項 (1)今後の同窓会活動について
 報告事項 (1)大谷大学同窓会慶弔並びに同期会OB・OG会等開催助成費に関する内規の一部改正について
 (2)特定非営利活動法人尋源舎の活動について
 (3)その他

2021年度大谷大学同窓会収支決算書

【収入の部】		【支出の部】	
科目	決算額	科目	決算額
1. 前年度繰越金	18,270,660	1. 事業費	9,317,400
2. 会 費	23,310,000	本部事業費	6,180,000
会費 (1)	1,320,000	支部事業助成費	1,540,000
会費 (2)	21,990,000	同期会・OB会等開催助成費	40,000
3. 入会金	3,665,000	学生会助成費	200,000
4. 寄付金	1,048,000	新入会員歓迎費	1,357,400
5. 同窓会基金取崩収入	0	2. 刊行費	1,880,150
6. 雑収入	174,033	無盡燈刊行費	1,553,970
7. 同窓会運用資金	25,000,000	印刷製本費	326,180
		3. 事務費	3,465,786
		本部事務局費	3,826
		活動費	350,000
		通信費	3,111,960
		4. 旅費	308,930
		5. 会議費	2,000
		6. 委託費	1,918,187
		7. 雑費	235,105
		8. 同窓会基金繰入支出	46,522
		9. 同窓会活性化準備金	339,293
		10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000
		11. 予備費	3,539,003
合 計	71,467,693	合 計	46,052,376

収入の部－支出の部＝25,415,317(次年度繰越金)

2022年度大谷大学同窓会収支予算書

【収入の部】		【支出の部】	
科目	予算額	科目	予算額
1. 前年度繰越金	25,415,317	1. 事業費	12,510,000
2. 会 費	21,080,000	本部事業費	7,260,000
会費 (1)	980,000	支部事業助成費	1,750,000
会費 (2)	20,100,000	同期会・OB会等開催助成費	700,000
3. 入会金	3,350,000	学生会助成費	200,000
4. 寄付金	500,000	新入会員歓迎費	2,600,000
5. 同窓会基金取崩収入	0	2. 刊行費	2,503,000
6. 雑収入	124,683	無盡燈刊行費	1,650,000
7. 同窓会運用資金	25,000,000	印刷製本費	853,000
		3. 事務費	3,970,000
		本部事務局費	50,000
		活動費	380,000
		通信費	3,540,000
		4. 旅費	3,900,000
		5. 会議費	240,000
		6. 委託費	2,160,000
		7. 雑費	275,000
		8. 同窓会基金繰入支出	50,000
		9. 同窓会活性化準備金	1,500,000
		10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000
		11. 予備費	23,362,000
合 計	75,470,000	合 計	75,470,000

◆ 2022年度役員一覧 (2022.5.11現在)

会 長 佐賀枝 夏 文	理 事 奥 村 豊	理 事 村 上 秀 磨	常務理事 柘 植 至
副会長 柴 田 達 也	理 事 加 藤 隆 昭	理 事 和 田 一 丸	常務理事 大 秦 一 浩
理事長 東 舘 紹 見	理 事 菅 原 信 顕	監 事 長谷岡 英 信	常務理事 宮 崎 健 司
常務理事 井 上 恵 二	理 事 難 波 明 則	監 事 藤 坂 初 裕	常務理事 采 暉 晃
常務理事 高 木 文 善	理 事 藤 原 憲	顧 問 一 楽 真	常務理事 中 島 弘 喜
常務理事 速 水 馨	理 事 本 間 義 悦	常務理事 平 野 寿 則	理 事 村 山 保 史

2022年度同窓会事業予定

◆ 第25回ホームカミングデー(予定)

2022年11月12日(土) ※詳細は同窓会ホームページでお知らせいたします。

◆ 「谷大生応援プロジェクト」(予定)

コロナ禍で「地元に戻省したいけど帰りにくい」、「旅行したいけど、このご時世では行けない」そんな思いを抱えている学生たちへの支援として、地域の名産品(長期保存が可能な物)を募集します！

詳細につきましては、同窓会ホームページをご覧ください。

◆全国各地での「大谷大学公開講演会」開催！

【大谷大学公開講演会】

2022年度は全国各地で「大谷大学公開講演会」を開催する予定です。また、大谷大学フェアも開催します。

是非、ご参加ください。

●大谷大学公開講演会

2022年7月上旬より、全国60カ所で開催！

●大谷大学フェア(東北) 2022年7月17日(日)

仙都会館(宮城県仙台市)＜公開シンポジウム開催＞

●大谷大学フェア(東海) 2022年10月15日(土)

東別院会館(愛知県名古屋市)＜公開シンポジウム開催＞

大谷大学公開講演会詳細

大谷大学フェア詳細



大谷大学同窓会HP



大谷大学HP

新型コロナウイルス感染拡大状況により予定が変更になる場合がございます。各ホームページで詳細をご確認ください。

2022年度「大谷大学公開講演会」開催一覧 [65支部 60会場] 共通テーマ / 「出会うということ」

支部名	開催日程	講師	講題
砂川	7月8日(金)	学長 一 楽 真	出合いが開く世界(※オンライン開催)
北の国	7月7日(木)	名誉教授 佐賀枝 夏文	出会うということ—先輩たちの教えと社会的実践—
旭川			
室蘭	7月28日(木)	名誉教授 織田 顕 祐	出会うということ—恩師鍵主良敬先生との出合いとこれからの課題—
深川	9月25日(日)	准教授 上野 牧 生	出会うということ
十勝	7月1日(金)	名誉教授 藤 嶽 明信	出会うということ—仏教・真宗を通して—
紋別	8月22日(月)	教 授 富岡 量 秀	ともに生き ともに育ち合う学びとの出合い
釧路	7月2日(土)	名誉教授 藤 嶽 明信	出会うということ—仏教・真宗を通して—
青森	9月13日(火)	准教授 藤 原 正 寿	出会うということ
岩手	8月23日(火)	教 授 東 館 紹 見	親鸞における聖徳太子との出合い
宮城	9月2日(金)	名誉教授 佐賀枝 夏文	出会うということ—先輩たちの教えと社会的実践—
山形	7月30日(土)	准教授 藤 元 雅 文	人世の悲しみと仏の願い—親鸞聖人に学ぶ「出あい」の意義—
福島	9月3日(日)	教 授 ダシユシヨバラニ	日本が仏教と出合って・・・
茨城	9月14日(水)	准教授 藤 原 正 寿	出会うということ
栃木	8月21日(日)	教 授 富岡 量 秀	ともに生き ともに育ち合う学びとの出合い
埼玉	9月3日(土)	名誉教授 佐賀枝 夏文	出会うということ—先輩たちの教えと社会的実践—
千葉	9月4日(日)	教 授 ダシユシヨバラニ	日本が仏教と出合って・・・
東京	8月3日(水)	教 授 山本 和 彦	ブツと出会う
神奈川	8月4日(木)	教 授 山本 和 彦	ブツと出会う
山梨	9月10日(土)	教 授 田中 久美子	健康で心豊かな暮らしと出会う
信濃学友会	9月5日(月)	教 授 井上 尚 実	「如来の家」に生まれ、みな「如来の子」となる
三条	9月1日(木)	准教授 藤 原 正 寿	出会うということ
上越	9月2日(金)	准教授 藤 原 正 寿	出会うということ
静岡	9月1日(木)	教 授 井上 尚 実	「如来の家」に生まれ、みな「如来の子」となる
尾張学友会	9月7日(水)	学長 一 楽 真	出合いが開く世界
大垣	9月2日(金)	教 授 井上 尚 実	「如来の家」に生まれ、みな「如来の子」となる
岐阜	8月29日(月)	教 授 福島 栄 寿	出会うということ
郡上	8月30日(火)	教 授 福島 栄 寿	出会うということ
飛騨	8月2日(火)	講師 本 明 義 樹	出合い—聖教編纂を通して
富山	8月23日(火)	准教授 コンウェイマイケルJ.	本願との値遇
金沢	8月26日(金)	教 授 箕浦 暁 雄	出会うということ
能登	7月16日(土)	准教授 中野 加奈子	貧困の実態に出会う—コロナ禍で何が起きているのか
小松	8月19日(金)	学長 一 楽 真	出合いが開く世界
大聖寺	8月24日(水)	准教授 コンウェイマイケルJ.	本願との値遇
福井	9月9日(金)	准教授 藤 元 雅 文	人世の悲しみと仏の願い—親鸞聖人に学ぶ「出あい」の意義—
湖東	9月3日(土)	准教授 大 原 ゆ い	家族をケアする「男性介護者」との出合い
湖南	9月18日(日)	名誉教授 佐賀枝 夏文	出会うということ—先輩たちの教えと社会的実践—
湖西	9月4日(日)	准教授 上野 牧 生	出会うということ
京都	9月4日(日)	准教授 川 端 泰 幸	戦国乱世に出会う—天下人・宗教者・民衆—
丹波	9月7日(水)	准教授 藤 原 正 寿	出会うということ
大阪北	9月9日(金)	名誉教授 ロバート F.ローズ	苦と我執と出合い
大阪東			
大阪南			
神戸			
神戶	9月10日(土)	教 授 志藤 修 史	出会うということ—大学での地域連携事業を通じて—(※オンライン開催)
阪神	9月13日(火)	准教授 西本 祐 攝	出会うということ
奈良	8月4日(木)	教 授 采 肇 晃	苦との出合い
播磨	9月1日(木)	教 授 采 肇 晃	苦との出合い
鳥取	9月9日(金)	名誉教授 佐賀枝 夏文	出会うということ—先輩たちの教えと社会的実践—
島根	9月8日(木)	名誉教授 佐賀枝 夏文	出会うということ—先輩たちの教えと社会的実践—
岡山	8月23日(火)	教 授 村山 保 史	出会うということ—曾我量深の清沢満之との出合いから—
福山	9月11日(日)	教 授 井上 尚 実	「如来の家」に生まれ、みな「如来の子」となる
広島	8月25日(木)	教 授 山本 和 彦	ブツと出会う
山口	9月10日(土)	准教授 コンウェイマイケルJ.	本願との値遇
四国	9月1日(木)	教 授 東 館 紹 見	親鸞における聖徳太子との出合い
福岡	9月3日(土)	学長 一 楽 真	出合いが開く世界
久留米	9月2日(金)	学長 一 楽 真	出合いが開く世界
佐賀	8月25日(木)	准教授 藤 元 雅 文	人世の悲しみと仏の願い—親鸞聖人に学ぶ「出あい」の意義—
大分	9月6日(火)	講師 本 明 義 樹	出合い—聖教編纂を通して
北九州	8月26日(金)	准教授 藤 元 雅 文	人世の悲しみと仏の願い—親鸞聖人に学ぶ「出あい」の意義—
長崎	8月30日(火)	教 授 谷口 奈青理	出会うということ—臨床心理学の視点から—
熊本	8月20日(土)	准教授 西本 祐 攝	出会うということ
宮崎	9月5日(月)	講師 本 明 義 樹	出合い—聖教編纂を通して
鹿児島	8月19日(金)	准教授 西本 祐 攝	出会うということ



同窓会支部だより



大学との連携を生かす

山梨支部長 栗原 宣如くりはら のぶゆき

山梨支部は県内1支部で活動を行っています。活動の中心は年に一度行われる公開講演会です。同窓会本部からの紹介で学内から講師を派遣していただいています。数年前から文学部のみならず社会学部、教育学部などからも社会状況に対応した課題に精通する先生方に講師を勤めていただいています。講演終了後、別室で自分の思いを先生に話し、先生のアドバイスで涙する同窓生の参加者もありました。今後は一般参加者にも大谷大学の魅力をこの公開講演会をとおして紹介したいと思っています。また同窓生が一人でも多く参加できる方法も考えて行きたいと思っています。自らが

学んだ大谷大学で先生、友人など人生において大切な時期を過ごした事を考える時、同窓生となった今の思いはただの通過点の大学ではなく、人生の大切な一日、一日であった事を思い感謝することが同窓生、自らの思いにつながるのではないのでしょうか。私自身も大谷大学でのご縁は今さらながら深いものがあつた事、日々痛感しています。今の私は大谷大学で生まれたと言っても過言ではなく、大いに感謝の思いであふれています。

支部活動が同窓生の一人ひとりの胸中にある学生生活を呼びおこし、卒業生の一人としての自覚を生む一翼を担う事が出来れば幸いです。霊峰富士山が見える山梨より大谷大学の弥栄を願います。



大谷大学公開講演会の様子

大谷大学の視座を如何に伝えていくのが課題

宮城支部長 信楽 弘道しがらき ひろみち

宮城支部は62人の会員(2019年5月現在)で構成されていますが、残念ながら十分に活動しているとは言えない状況です。それ故、毎年9月に開催される「大谷大学公開講演会(旧・全国縦断夏季八十講)」では県内全ヶ寺および門徒会に広く呼びかけ、一般の方にもご参加をいただけるようにご案内をしております。

このような講演会は、大学の社会的使命とその存在意義を表す場になることは勿論ですが、「人間教育」を標榜する大谷大学が初代学長・清沢満之先生の言う「浄土真宗の学場」を基底とし、どこまでも個としての学問研鑽と「広開性」とによって時代社会に応えんとする場としての意味は大きいと思います。

特に、コロナ下において、ウイルスに対する不安や

恐怖以上にそこから派生する問題、つまり疑心暗鬼、偏見や差別といった人間存在の在り方そのものが問われてくる事態に対して、大谷大学が持つ視座から学ぶべきことが多いと考えます。そのようなことから、今後、会員相互の親睦を一層深めると共に一般の方に対する広報も検討していく必要性を感じています。

また、今年1月に大学フェア(東北)にかかる意見交換会が開かれた際には、東北において大学の認知度の低さが指摘されています。これについては、当大学研究者のみならず地元研究者を招聘した公開シンポジウムや、地域が抱える課題をテーマにするなどを通じて、認知度を高めていくという方向で確認されました。

社会に対して大谷大学が持つ視座を如何に伝えていくのが、今後、当支部の課題になると考えています。



大谷大学公開講演会の様子

支部長・支部事務局交代(同窓会本部 2021年4月2日以降、2022年4月1日現在掌握分)

○支部長交代
 (岩手支部長) 藤原 善継 2021.06.09付就任(前支部長 杉村 郁磨)
 (飛騨支部長) 前田 法俊 2021.08.01付就任(前支部長 三本 昌之)
 (島根支部長) 蓮岡 徹 2022.04.01付就任(前支部長 多賀 慈久)
 ○支部事務局設置
 (湖東支部事務局) 蒲池 義圭 2021.04.01付就任
 (山形支部事務局) 水澤 孝秀 2021.06.01付就任

○支部事務局交代
 (久留米支部事務局) 江島 光伸 2021.06.01付就任(前支部事務局 木屋 行深)
 ○顧問・学内常務理事・本部事務局交代
 (常務理事・本部事務局長) 柘植 至 2021.07.01付就任(前本部事務局長 岡本 学)
 (顧問) 一楽 真 2022.04.01付就任(前顧問 木越 康)
 (常務理事) 平野 寿則 2022.04.01付就任(前常務理事 高井 康弘)
 大秦 一浩 2022.04.01付就任(前常務理事 平野 寿則)

AIが仕事を奪う?!

大谷大学教授 ^{やまもと たかこ} 山本 貴子



今から5・6年前頃からだったか「AIが仕事を奪う」や「なくなる仕事・なくなる仕事」などの記事が見られるようになってきた。記事によれば、「**という仕事はなくなった」とか「**に置き換わった」と書かれたりしている。

ある程度、年を重ねたひとには「ああ、またか」といった具合だろうが、若い人にとっては「その通りだ」と納得したり、「これからどうなるのだろう」と不安になったりと、心がざわつく内容ではないかと思う。

確かに不安に駆られるのは致し方ないことではあるのだが、一方で年長者が「ああ、またか」と思うのも、それなりの理由がある。

有名なところでは、19世紀のイギリスで、繊維工業関連の職業に就いていた労働者たちが、産業革命によって生まれた機械を導入することで失業すると考えて、機械を破壊したラッドライト運動というのがあった。(それ以前にも同様の運動はあったらしいが、これが最大規模とのこと。)

では、その後、仕事が奪われたり仕事がなくなってしまうのだろうか。もちろん、それまでと同じ仕事がそれまでと同じ人の手で行われるということではなかったかもしれない。でも、仕事のやり方は変化しつつも機械を取り込んだ形でやはり人の手を介して仕事が行われている。もちろん、ラッドライト運動とAI革命(「革命」といってよければ)とを同列に考えることはできないだろうが、やはり「人」は必要なのである。

ただ、「今までと同じやり方ではまずいこともある」というのは大事なポイントだろう。これだけ変化の激しい時代のなかで自分がやりたい仕事をするためには、それに合った知識や技術を身に付け続ける必要がある。要するに、一過性の「学び」ではなく、「学び続ける」必要があるということだ。「学び」の内容はやりたいことによって異なるが、とにかく、学び続ける。

若い人たちには、学び続けて自分の希望する人生を歩んでいってほしいと思っている。

現役教員からのお便り

モンゴルから

大谷大学教授 ^{まつかわ たかし} 松川 節



同窓生のみなさん、お元気ですか？私が大谷大学で情報系のゼミを担当して20年以上が経ちました。ゼミテーマは一貫して「文化財のデジタル化」で、みなさんとともに「葵祭」、「祇園祭」、「JINGEN100」、「マルチメディア博物館」、「駅ナカアート」といった様々なプロジェクトに取り組んできたことが懐かしく思い出されます。

大学での授業と並行してモンゴル史の研究、特に現地調査をモンゴル国や中国で継続しています。まだ人文情報学科の演習棟3号館がある時期でしたが、現地からSkypeでつないで教室にいるゼミ生にモンゴルの映像を見てもらったのは新鮮な体験でした。それが今は、オンライン授業がコロナ禍の副産物として急速に広まり、授業だけでなく多くの人間関係もネット越しになってしまいましたね。それでも対面に勝るものはないと私自身は思っています。みなさんが気軽に母校を訪れられる日が来るのを心待ちにしています。

ところで実は今、半年間の在外研究中でモンゴル国に滞在しています。モンゴル国は2022年春から感染が落ち着き、全ての行動規制が解除されました。素晴らしい自然環境の下、ライフワークとしてのモンゴル史・モンゴル仏教史研究の総まとめに取り組んでいます。



調査先の牧民のゲルで

大谷大学では2022年度から社会学部コミュニティデザイン学科に「情報メディアコース」が新たに開設され、地域コミュニティの発展に情報メディアはいかに活用できるかを追究しています。私のゼミでは、マルチメディアを活用して地域の伝統文化を記録する過程で、地域固有の文化とは何かを考えています。こうした教育において、卒業生のみなさんが残した卒業研究・卒業論文・映像作品といった「レガシー」は貴重な存在になっているのです。



◆ 名誉教授の称号贈られる

このたび、大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、大谷大学の教育上、また学術上、特に功績のあった先生に贈られる名誉教授の称号が3名の先生方に贈られました。授与式は2022年4月1日に学長室において行われました。



滝口 直子 名誉教授 (社会学)



高井 康弘 名誉教授 (社会学)



浅見直一郎 名誉教授 (東洋史)

◆ 大谷大学と京都府立医科大学が社会貢献における包括連携協定を締結

大谷大学と京都府立医科大学は、2022年3月22日(火)、京都府立医科大学において調印式を行い、両大学の強みを活かした社会貢献における包括連携協定を締結しました。



左から：京都府立医科大学 竹中洋学長、大谷大学 木越康学長 (当時)

本協定の目的は、「両大学の社会貢献における連携のあり方を定め、地域社会の発展に寄与すること」とし、連携協力の範囲は、「医療環境下における教育ならびに保育等の改善に関すること、共生的価値と歴史景観による安らぎを与える地域空間の創生に関すること、医療ならびに教育の両分野を相互に理解し貢献できる人間の育成に関すること、教職員ならびに学生の相互交流に関すること」としています。

詳細は大谷大学ホームページをご確認ください。

〈教育研究支援課〉

◆ 課程博士の学位を授与 (2022/3/18 学位記授与)

2021年度は、博士後期課程修了者5名に「博士(文学)」の学位が授与されました。

〈教務課〉



柏樹 貴弘氏 (真宗学)



廣田 至氏 (真宗学)



澤崎 瑞央氏 (仏教学)



英 亮氏 (仏教学)



磯部 美紀氏 (社会学)

◆ 大谷大学がインド政府から「仏教学振興賞」を受賞

大谷大学が、仏教研究の推進に貢献した功績を表す「仏教学振興賞 Award for Promotion of Buddhist Studies」の第1回受賞者に決定し、2022年3月29日(火)に、本学において、サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使から賞が授与されました。

授与式において駐日インド大使は「1958年にインド初代大統領ラジェンドラ・プラサード博士が大谷大学を訪問されたことが、インドと大谷大学の継続的な協力関係の強力な土台となりました。最近では、2021年に在東京インド大使館と大谷大学が合同で仏教会議を開催し、成功を取めたことは、私たちの変わらぬパートナーシップを示すものであります」と挨拶されました。

木越学長(当時)は「先学の業績が高く評価されたことを感謝するとともに、これからの仏教研究を進めていくにあたり責任を重く感じています」と述べました。

詳細は大谷大学ホームページをご確認ください。

〈企画課〉



授賞式での記念撮影

◆ 人事情報 ◆

(2021年5月1日～2022年4月30日)

執行部の交代

【大谷大学長（第29代）】

一楽 真

(任期は2026年3月31日まで)

【学監・副学長】

平野 寿則

2022年4月1日付（各通）

【学監・事務局長】

柘植 至

2021年7月1日付

【教育・学生支援担当副学長兼文学部長】

大秦 一浩

【学生部長】

藤枝 真

【入学センター長】

渡邊 拓也

【教育学部長】

富岡 量秀

【大学院人文学研究科長】

采畢 晃

2022年4月1日付（各通）

館長等の交代

【図書館長】

中川 眞二

【博物館長】

宮崎 健司

【学寮長】

新田 智通

2022年4月1日付（各通）

附属幼稚園長の交代

【幼稚園長】

竹田ひとみ<再任>

2022年4月1日付

定年退職

【教育職員】

浅見直一郎（教授／文学部）

高井 康弘（教授／社会学部）

西村 雄郎（教授／社会学部）

【事務職員】

泉 一也（教育研究支援部）

2022年3月31日付（各通）

契約期間満了による退職

【教育職員】

滝口 直子

(特別契約教授／社会学部)

原田奈名子

(特別契約教授／教育学部)

松井 玲子

(特別契約教授／教育学部)

麻生 陽子（任期制講師／国際学部）

泉谷 瞬（任期制講師／文学部）

古谷 伸子（任期制講師／社会学部）

青木 佑介（任期制助教／文学部）

浦井 聡（任期制助教／文学部）

鎌田 智恵（任期制助教／文学部）

高井 龍（任期制助教／文学部）

山本 春奈（任期制助教／文学部）

【事務系嘱託】

石川 淳（教育研究支援部）

大伴 瑠弥（企画・入試部）

山下 晶江（教育研究支援部）

【校医】

山口 智美

【寮監】

板先 唯人（貫練学寮）

【学習支援アドバイザー】

根無 一行

【PD研究員（真宗総合研究所東京分室）】

青柳 英司

鍾 宜錫

2022年3月31日付（各通）

依願退職

【学監・事務局長】

岡本 学 2021年6月30日付

【教育職員】

山田 恵文（准教授／文学部）

2022年3月31日付

【事務職員】

山内 麻慈（企画・入試部）

2021年7月31日付

【事務系嘱託】

八木麻衣子（学生支援部）

2021年6月30日付

富士澤 香（総務部）

2021年9月30日付

竹山 佳澄（企画・入試部）

2021年12月31日付

小林 郁恵（総務部）

2022年1月31日付

新規採用

【学監・事務局長】

柘植 至 2021年7月1日付

【教育職員】

アマ ミチヒロ（准教授／国際学部）

梶井 大輔（准教授／教育学部）

尾場 幸子（講師／教育学部）

後藤 晴子（講師／社会学部）

古谷 伸子（講師／社会学部）

寺川 直樹（講師／教育学部）

永瀬 圭（講師／社会学部）

野村 実（講師／社会学部）

前田 充洋（講師／文学部）

小川 直人（任期制講師／文学部）

北山 敏秀（任期制講師／文学部）

橋口 昌治（任期制講師／社会学部）

大関 綾（任期制助教／文学部）

鈴木真太郎（任期制助教／文学部）

平田 公威（任期制助教／文学部）

古川 拓磨（任期制助教／文学部）

増成 一倫（任期制助教／文学部）

松岡 淳爾（任期制助教／文学部）

【事務職員】

旭 一向（学生支援部）

野路 愛輝（企画・入試部）

2022年4月1日付（各通）

【事務系嘱託】

川崎世里奈（総務部）

2021年10月1日付

掛江 美里（学生支援部）

2021年11月10日付

恩庄真理子（教育研究支援部）

倉田 光（学生支援部）

桑原知幸子（企画・入試部）

田中 美有（企画・入試部）

橋本世津子（教育研究支援部）

不動 真依（総務部）

【客員教授】

下田 正弘

【寮監】

榎山 遊（貫練学寮）

【学習支援アドバイザー】

栗村亜寿香

佐藤 夏樹

【障がい学生支援アドバイザー】

村田 淳

【PD研究員（真宗総合研究所東京分室）】

磯部 美紀

澤崎 瑞央

2022年4月1日付（各通）

昇格

【教授】

井上 和久（文学部）

廣川 智貴（国際学部）

藤枝 真（文学部）

三浦誉史加（国際学部）

渡邊 拓也（社会学部）

【准教授】

上野 牧生（文学部）

大原 ゆい（社会学部）

谷 哲弥（教育学部）

2022年4月1日付（各通）



寺川 俊昭名誉教授を偲んで

寺川俊昭先生が2021年9月28日にご逝去された。1928年に広島県の真宗寺院に生まれ、大戦での原爆を経験された後、東京大学で宗教学を学ばれた。卒業後は京都女子大学や広島の高専で教鞭をとり、1966年に本学真宗学科の専任講師に着任された。

東京大学では清沢満之についての卒業論文を提出され、その後、清沢研究の先駆者として多くの成果を公表し、それによって清沢は、近現代の多くの思想家に強い影響を与える人物として再発見された。先生の清沢研究は教団改革運動を起点としたが、その成果は現在にいたるまで大谷派の教

団運営に欠くことができない思想的支柱のひとつになっている。

伝統的な仏教学や真宗学にいわば<宗教思想学>的手法を取り入れた研究は、例えば親鸞の往生思想や回向論を巡る伝統的理解に一石を投じ、いまま学界では議論が絶えない。

私は最晩年まで先生にご指導をいただく機会をもったが、時にはかつてのゼミ仲間と連れ立って広島の先生のもとを訪ねた。先生はいつも笑顔で迎えてくださり、決して敬語以外で話されることはなかった。敬語は、学生時代からのことである。師弟ではなく、常に大切な「学友」として私たちを扱ってくださったのだと思う。そんな先生の講義中の口癖は「何か問題がありますか?」だった。大学院の授業は、基本的にはご自身の新たな知見の発表の場だった。内容について、対等な研究者として意見を求めてこられたのである。誰も何も反論しなかったが、いつも笑顔で講義を続けられた。仏教に学ぶ未熟な私たちを「朋友」として敬う態度は、先生の笑顔と共に多くの人の胸に刻まれている。 大谷大学教授 木越 康



瀬戸 進名誉教授を偲んで

2021年12月30日、名誉教授の瀬戸進先生が享年90才でご逝去されました。

先生は、1931年6月26日に小田原市に生まれ、東京教育大学(現筑波大学)体育学部体育学科をご卒業後、1966年4月に本学専任講師として着任。以来、1997年3月の退職まで31年間、保健・体育系の教員として、また体育会顧問、更に本学の学生スポーツ全般の発展に大きく貢献されました。

中でも先生はサッカー競技に専心され、1966年度からご退職後の2009年度まで本学サッカー部の監督をお勤めになり、また関西サッカー協会、関西学生サッカー連盟、京都府サッカー協会、並びに京都学生サッカー連盟などの要職を歴任されました。ベーシックスキルを大切にされた理論的なご指導は、関西全域の選手・指導者から厚い信頼を得るものでありました。

一方、社会活動にも大きな功績を残され、1970年に世界サッカー連盟(FIFA)の審判インストラクターに認定された後、日本サッカーリーグ担当審判員、1984年から財団法人日本サッカー協会審判インストラクター兼インスペクターとして、国際審判員をはじめとする優秀な審判員を数多く育てるなど、日本サッカー界の発展に大きく寄与されました。こうしたご功績により、1991年には「京都府スポーツ賞<功労賞>」を受賞されました。

私は当時の一学生に過ぎず、ご生涯を概括することなどはできません。ただ、先生からサッカー部顧問を託された者の役目として若干の謝意を記した次第です。

先生、長年のご指導ありがとうございました。

大谷大学名誉教授 織田 顕祐



幡谷 明名誉教授を偲んで

2021年11月26日、幡谷明先生がお浄土に帰られた。93年のご生涯であった。1928(昭和3)年に島根県浜田市のお浄土寺にお生まれになった先生は、1951年に大谷大学真宗学科を卒業され、1962年に本学短期大学部の専任講師に就任された。曾我量深、金子大榮、山口益、鈴木大拙という最高の教授陣がそろった「古き良き時代」の大谷大学で学ぶことができた幸せについて先生は生涯感謝し続け、仏教学の基礎の上に真宗学が構築される大谷大学の学風が続いていくようにと、1994年の退職後もずっと心を砕かれていた。

私の父とは大谷大学予科時代からの親友で、兄も幡谷ゼミでお世話になったが、私自身が親しくご指導いただいたのは真宗学科の教員となった2003年からであった。その頃すでに退職して70代半ばの先生は、思いがけないタイミングでよく電話を下された。いつも元気なお声で、最新の仏教学や真宗学の論文についてお尋ねがあり、こちらはまだ読んでなくて慌てて図書館に行ってコピーするというようなことが何度もあった。文献学的にしっかり典拠を押さえた上で、宗教哲学的に深い意味を持つテーマについて問い続けるという真宗学の方法について、懇切丁寧に導いて下さったのだ。

2012年11月26日の親鸞聖人讃仰講演会における「帰るべき世界」と題されたお話は、今も多くの人の耳の底に響き続けている。「これが高倉会館での最後の講演」と、時を忘れて説法獅子吼された84歳の先生の姿に満堂の聴衆は圧倒された。この時の講演とその拠り所となる聖教の言葉が綿密に記された8頁に及ぶレジュメは、『増補 大乘の至極－無住処涅槃と還相回向－』(方丈堂出版、2013年)に収められ、現代真宗学における必読の書となっている。幡谷先生、長い間のご指導、本当にありがとうございました。

大谷大学教授 井上 尚実

()内は最終卒業・修了年度(敬称略)
年月日はご逝去された日付
(逝去日・五十音順)

敬弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで
哀悼の意を表します。

※同窓会本部 2022年3月31日現在
掌握分

稲田 剛治	文学部 (1990)	2016.04.27	藤田 泰寿	文学部 (1959)	2021.02.04	村上 祐佑	博士 (1979)	2021.07.03
北橋 厚子	短期 (1973)	2017.03.09	朝倉 彰	文学部 (1958)	2021.02.06	土方 流	大専門 (1940)	2021.07.04
柳原 英晶	修士 (2003)	2017.03.13	藤井 菩	博士 (1969)	2021.02.08	乾 憲雄	大学部 (1948)	2021.07.06
日野 淳勝	大専門 (1950)	2018.06.17	藤田 浄昭	大専門 (1949)	2021.02.17	大音 祖瑛	修士 (1962)	2021.07.10
森江 俊孝	修士 (1971)	2019.09.14	鈴木 磐	修士 (1965)	2021.02.26	安部 真悟	文学部 (2002)	2021.07.11
石黒 達郎	修士 (2013)	2019.09.25	富田 恵正	大専門 (1950)	2021.02.28	小栗 栖法	文学部 (1977)	2021.07.11
藤永 旭巖	大専門 (1950)	2019.11.15	長柄 勝美	大学部 (1954)	2021.03.01	北園 正利	短期 (1972)	2021.07.13
華園 真津	大学部 (1947)	2019.12.16	山内 哲雄	修士 (1955)	2021.03.01	谷内 正遠	文学部 (1977)	2021.07.28
高原 朱實	文学部 (1968)	2019.12.24	志賀崎 史雄	文学部 (1966)	2021.03.04	塚田 峻	文学部 (1969)	2021.07.31
驚阪 宗演	博士 (1965)	2020.01.08	細川 忠元	文学部 (1961)	2021.03.06	小原 正圓	修士 (1970)	2021.08.03
辻本 昌昭	文学部 (1971)	2020.02.03	宇都宮 観瑞	文学部 (1957)	2021.03.10	川那辺 恵	文学部 (1957)	2021.08.05
福井 徳融	大専門 (1949)	2020.03.01	曾我 祐賢	短期 (1959)	2021.03.17	谷沢 宣誠	大学部 (1952)	2021.08.13
奥森 茂	文学部 (1960)	2020.05.05	愛徳 誓英	文学部 (1964)	2021.03.22	辻 皓	大専門 (1947)	2021.08.13
吉峯 隆紹	修士 (1958)	2020.06.04	竹治 政枝	文学部 (1980)	2021.03.26	長谷岡 一也	大学部 (1946)	2021.08.21
藤 兼淳	大学部 (1950)	2020.07.03	赤松 専	大学部 (1949)	2021.03.27	長原 祐真	大専門 (1949)	2021.08.25
白尾 正信	文学部 (1960)	2020.07.21	田中 圭悟	文学部 (1968)	2021.03.27	調 紀	文学部 (1962)	2021.08.26
漆崎 曄二	大専門 (1942)	2020.08.29	加藤 潔	大学部 (1950)	2021.03.30	石川 宣明	文学部 (1960)	2021.08.29
黒崎 浩	文学部 (1958)	2020.09.22	松間 康二	文学部 (1976)	2021.04.01	山本 菘	文学部 (1957)	2021.09.06
杉浦 祥道	文学部 (1976)	2020.10.02	安田 淳子	短期 (1982)	2021.04.07	岡崎 宣真	大専門 (1945)	2021.09.11
橘 公俊	大学部 (1954)	2020.10.04	千田 賢順	文学部 (1965)	2021.04.10	川合 晃	短期 (1980)	2021.09.14
中山 秀成	文学部 (1979)	2020.10.15	三村 正俊	大学部 (1947)	2021.04.10	竹津 一義	文学部 (1959)	2021.09.18
宮地 義広	文学部 (1977)	2020.10.17	泉 恵機	修士 (1970)	2021.04.17	中野 信	文学部 (1984)	2021.09.20
山口 建治	文学部 (1956)	2020.10.27	辛嶋 珠光	文学部 (1970)	2021.04.21	藤 文昭	文学部 (1959)	2021.09.20
碓井 悦丸	短期 (1968)	2020.10.30	藤纏 滉	大専門 (1944)	2021.04.22	但馬 弘	文学部 (1981)	2021.09.23
大洞 龍明	博士 (1964)	2020.10.30	田村 晃洋	博士 (1969)	2021.04.24	寺川 俊昭	会友	2021.09.28
神田 信之	短期 (1962)	2020.10.30	月見 洪文	文学部 (1975)	2021.04.24	瀬辺 玄龍	文学部 (1974)	2021.10.03
緒方 至道	文学部 (1958)	2020.11.02	土井 信明	文学部 (1976)	2021.04.27	福島 和人	修士 (1962)	2021.10.11
畝部 俊英	文学部 (1959)	2020.11.14	平崎 実	修士 (1978)	2021.04.27	栗田 龍磨	文学部 (1957)	2021.10.13
御館 健	文学部 (1950)	2020.11.26	岡村 正顕	文学部 (1954)	2021.04.30	加納 公暉	文学部 (1962)	2021.10.16
住川 隆尚	文学部 (1962)	2020.12.04	櫻木 信行	文学部 (1957)	2021.05.01	西川 教美	短期 (1960)	2021.10.20
廣田 晋	大学部 (1954)	2020.12.16	豊島 弘	文学部 (1962)	2021.05.04	渡辺 宝哲	大専門 (1941)	2021.10.20
川岸 不退	大専門 (1946)	2020.12.18	東館 祐宗	文学部 (1956)	2021.05.06	野村 闌正	文学部 (1965)	2021.10.21
村上 良憲	文学部 (1958)	2020.12.21	朝比奈 朝磨	短期 (1971)	2021.05.09	北脇 正也	大予科 (1948)	2021.10.25
岡崎 知行	文学部 (1966)	2020.12.22	川谷 文昭	文学部 (1964)	2021.05.15	山本 清磨	文学部 (1956)	2021.11.05
佐々木 公恵	大学部 (1953)	2020.12.23	竹貫 元勝	博士 (1972)	2021.05.16	東 教行	文学部 (1984)	2021.11.09
河野 貫亮	短期 (1953)	2020.12.30	藤井 慧昭	短期 (1959)	2021.05.20	幡谷 明	大学部 (1950)	2021.11.26
清沢 端也	文学部 (1969)	2021.01.02	渡辺 智圓	修士 (1969)	2021.05.26	驚岳 秀子	文学部 (1971)	2021.12.02
笠井 英信	修士 (1974)	2021.01.05	金谷 報光	修士 (1964)	2021.05.30	藤原 了昭	大学部 (1952)	2021.12.03
倉内 賢幸	大学部 (1948)	2021.01.14	広瀬 真紹	文学部 (1959)	2021.06.07	瀬戸 進	会友	2021.12.30
町井 康宏 (旧姓:平田)	文学部 (1981)	2021.01.15	大内 眞雄	大専門 (1949)	2021.06.10	西村 七兵衛	文学部 (1955)	2022.01.20
佐藤 賢隆	文学部 (1997)	2021.01.24	遠衛 芳昭	文学部 (1968)	2021.06.11	鈴木 昭眞	文学部 (1964)	2022.02.08
神保 静雄	大学部 (1947)	2021.01.29	前田 龍輝	文学部 (1962)	2021.06.14	淵 邦岐	大専門 (1944)	2022.03.09

大谷大学同窓会の発展にご尽力賜りました元役員・支部長のご逝去について、謹んでご報告申し上げます。<逝去日順>
 廣田 晋氏<1992年~2019年 神戸支部長> 大音祖瑛氏<2002年~2011年 三為会支部長、2008年~2019年 同窓会理事>
 東館祐宗氏<1996年~2003年 仙台支部長> 調 記氏<2015年~2020年 久留米支部長>
 金谷報光氏<2005年~2021年 網走支部長> 栗田龍磨氏<1998年~2003年 三重支部長>

ご結婚おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを念じ申し上げます。

()内は最終卒業・修了年度(敬称略) ※同窓会本部 2022年3月31日現在 掌握分 入籍日順

- | | | | | | |
|---------------|---|---------------|------------|---|------------|
| 河村 遼 (2014短) | ♥ | 高光 萌衣 (2014短) | 辻野皓一朗 (会友) | ♥ | 近藤 実咲 (会友) |
| 鈴木 翔吾 | ♥ | 竹山 佳澄 (会友) | 佐藤 彰宣 | ♥ | 岡部 茜 (会友) |
| 渡邊 力 (2009文) | ♥ | 佐々木直美 | 吹野 僚平 | ♥ | 久能 佳歩 (会友) |
| 戸次 輝 (2015修士) | ♥ | 鈴木 美里 | | | |

※大谷大学尋源講堂での仏前結婚式をお受けしています。お問い合わせは、大谷大学総務課 (TEL 075-411-8163) まで。

同窓会費の納入について(協力ご依頼)

同窓会は、同窓の皆さまにご納入いただく「**同窓会費(終身会費と年会費)**」と「**寄付金**」を活動資金として事業を行っています。同窓会活動にご理解とご支援を賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<会員区分について>

卒業年度により「会員区分」が異なります。ご自身の会員区分をご確認いただき、「同窓会費(終身会費と年会費)」または「寄付金」のご納入をお願いいたします。

なお、同窓会報『無盡燈』の宛名ラベルに所属の会員区分が記載されています。

会員区分	ご依頼内容
一般会員 ①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会員」ではない方	同封の振込取扱票(振込手数料無料※)を使用し、以下の【A】【B】のいずれかの方法により、会費納入をお願いいたします。 【A】毎年、「年会費 3,000円」を納入する。 【B】「終身会費 30,000円」を納入し、終身会員に変更する。 振込取扱票を使用されない場合は、以下の口座に振込をお願いいたします。 <同窓会費専用 振替口座(ゆうちょ銀行)> 口座番号 01020-9-20542 加入者名 大谷大学同窓会本部
終身会員 ①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会費 30,000円」を納入した方 ②1991年度以降の卒業・修了生のうち、卒業・修了年次の学費納入時、「終身会費30,000円」を納入した方	同封の振込取扱票(振込手数料無料※)をご利用いただき、寄付金の納入に、ご協力をお願いいたします。

※通帳・カード扱いの場合に限る。

卒業後も大学を利用しよう！

卒業後も、大学で利用できるサービスがあります。



図書館・博物館のご利用

同窓生は、大谷大学の図書館、博物館(特別展無料)を利用することができます。ただし、図書館の利用には、利用証申請手続きが必要です。詳細については、大学ホームページをご確認ください。

大谷大学図書館

大谷大学博物館

※現在、新型コロナウイルス感染症により利用制限を設けています。詳細は、大学ホームページをご確認ください。



ご住所の変更連絡

同窓会本部では、同窓会員の住所・氏名を管理しています。会報誌、同期会等各種郵送物の宛先となりますので、氏名・住所に変更がある場合は、同窓会本部へご連絡または、以下のメールフォームをご利用ください。

大谷大学ホームページ 会員の住所変更
<https://www.otani.ac.jp/kouyuu/nab3mq000005lgd2.html>



各種証明書の申込み

証明書等の発行については、お電話または窓口で申し込むことができます。発行には手数料が必要となります。詳細は大学ホームページをご確認ください。

大谷大学各種証明書



ご結婚のお知らせ

同窓会員がご結婚される際には、同窓会より祝電をお送りします。また、同窓会報『無盡燈』にてご結婚のご報告をさせていただきますので同窓会本部(TEL:075-411-8124)へご一報ください。

大谷大学内で仏前結婚式

大谷大学の尋源館2階にある尋源講堂で、仏前結婚式を行うことができます。尋源館は登録有形文化財として登録されています。思い出の大学での結婚式をお考えの際は相談ください。



▶ 仏前結婚式の問合せ先

大谷大学総務課 TEL:075-411-8163

同期会、OB・OG会開催にあたり、同窓会本部では以下のサポートを行っています。開催の際はぜひご連絡ください。
 (※以下のサポートは、対象者すべての方への案内(例：ゼミ全員に案内)が条件となります。)

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、同期会等の受け付けを中止しています。
 再開については同窓会ホームページをご確認ください。

Support 1 大学施設の利用・見学ができます。

●学内施設または湖西キャンパスセミナーハウスで開催ができます。 ●学内でのケータリングが可能です。
 ※希望される場合は、日程等を決定する前に、同窓会本部へご相談ください。学内見学も随時受付けています。

Support 2 連絡用名簿・宛名ラベルの提供ができます。 ※申請書受付後、提供までに1週間～10日程かかります。

Support 3 ホームページ「無盡燈」に開催告知を掲載します。

Support 4 開催助成費(1万円/2022年6月現在)の補助を行っています。

●通信費の一部として補助を行っています。一定の条件がありますので、詳細は同窓会本部までお問い合わせください。

Support 5 写真を掲載し、同窓会ホームページ「無盡燈」には、開催報告(写真およびコメント)の掲載をします。

開催スケジュール

- ① おおよその開催日・開催場所を決定。
↓
- ② 同窓会本部へ TEL またはメールで連絡。
★幹事名、「同期会開催届」の送付先、名簿・宛名ラベルの必要有無を連絡してください。
↓
- ③ 「同期会開催届」を開催1ヵ月前までに提出。
★同期会、OB・OG会では、対象者すべての方に案内(例：ゼミ全員、OB・OG全員に案内)を行ってください。
↓
- ④ 開催助成費(1万円)を幹事へ送付(現金書留)。
↓
- ⑤ 開催当日
★開催報告用に、集合写真を撮影してください。
↓
- ⑥ 開催後、1ヵ月以内に同窓会報『無盡燈』掲載用の「集合写真」、「コメント(200文字以内)」を同窓会本部へ提出。

広 告
募 集

同窓会報『無盡燈』 広告掲載について

およそ40,000人(2022年4月現在)の同窓生に向けて、お店の紹介などの広告を掲載しませんか。掲載枠の種類は以下のとおりです。

- 2 枠 (タテ 60mm × ヨコ 180mm) 50,000 円 (税込)
- 1 枠 (タテ 60mm × ヨコ 90mm) 30,000 円 (税込)

※掲載ページの指定はできません。

<お問合せ先>

大谷大学同窓会本部 (大谷大学校友センター内)

開室時間 9:00～17:00 (11:30～12:30 土・日・祝のぞく)

TEL 075-411-8124 FAX 075-411-8157 E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

教育振興資金寄付者（敬称略）【2021年4月1日～2022年3月31日】

大谷大学では、教育研究環境の一層の充実を図るため、「教育振興資金局」を設置し、募金活動を行っています。ご寄付いただいた資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

2021年4月1日から2022年3月31日までの間に、ご寄付をいただきました方々は次のとおりです。

また、本学では引き続き募金活動を行っております。ご寄付の方法につきましては、大谷大学ホームページをご確認ください。今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

2021年4月1日～2022年3月31日
 寄付者総数 42件
 寄付金総額 15,126,000円

個人

安達 和正（岡山県） 池田 誠（岡山県） 岩田 理恵（三重県） 大須賀光俊（静岡県） 河村 淳（愛知県）
 木野 勝之（京都府） 金 京子（大阪府） 鷹橋 賢淳（岐阜県） 筒井 浩也（滋賀県） 寺川 大雅（広島県）
 長藤 仁美（大阪府） 難波 明則（大阪府） 日坂 進（兵庫県） 松田 憲周（高知県） 松田 康徳（京都府）
 三保谷 順（愛知県） 八木 郁喜（京都府） 八島 セツ（北海道） 吉川 彰（兵庫県）
 匿名 11件

法人・団体

憶念寺 代表役員 本庄 禎正（長崎県）
 願龍寺 代表役員 大間 祥宏（青森県）
 西光寺 橋本 唯彰（茨城県）
 照巖寺 久末 良純（福井県）
 善教寺（長崎県）
 有限会社石間企画事務所 代表取締役 石間 裕（東京都）
 株式会社原了郭 代表取締役 原 悟（京都府）
 株式会社フラットエージェンシー 代表取締役 吉田 創一（京都府）
 匿名 4件

〈本寄付は学校法人真宗大谷学園に対する寄付であり、税法上の優遇措置を受けることができます。〉

【寄付のお申し込み／お問い合わせ先】 **大谷大学教育振興資金事務局**

京都市北区小山上総町（大谷大学校友センター内） TEL 075-411-8124

▶ 🔍

OTANI古本Project

ヒコガル×ツナガル 学生支援

OTANI UNIVERSITY USED BOOK DONATIONS



2018年6月から2022年3月（※）までに3,831冊（102,497円分）の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

（※）新型コロナウイルス感染症のため、2020年5月以降の取り引きを一旦中断していました。現在は再開しています。

🗨️ どのような仕組みですか？

古本を寄付 古本の集荷・仕分け・買取 大学図書購入費用等へ

同窓生のみなさま

株式会社
バリューブックス



🗨️ 以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

● ISBNのない本



- 百科事典 ● コンビニコミック
- 個人出版の本 ● マンガ雑誌 ● 一般雑誌
- 2010年より以前に出版された本

※「おためし査定」で査定額が出るものはご寄付いただけます。

このプロジェクトは、読み終えた本、不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を寄付することで、寄付された書籍は、社会へ還元され、いただいた寄付金は大谷大学在学生在が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用となる寄付事業です。

古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会にぜひ、「OTANI古本Project」にご協力ください。

🗨️ 手続きの方法は？

- ① 2010年以降に出版された書籍が確認する。
(※2010年より以前の書籍は「おためし査定」をする。)
- ② 書籍をダンボールに入れる。
- ③ WEBで集荷を依頼する(※5冊以上であれば送料無料です)。
- ④ 査定結果についてご本人に報告(買取金額が大学へ寄付されます)。



おためし査定はこちら

詳しくは  **WEB**をご覧ください。

▶ 🔍

🗨️ **お問合せ先**

大谷大学教育振興資金事務局(大谷大学校友センター内)
TEL : 075-411-8124(平日9:00～17:00)

お申込みに関してのご注意

買取額は市場価値等を考慮して(株)バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや、値段がつかないこともございます。お申込みの際は、その点をご理解くださいますようお願いいたします。

京都市のふるさと納税を通じて、大谷大学の学生の社会貢献活動を支援することができます！

京都市ふるさと納税寄付金で 大谷大学にご寄付いただいた数



網野町海浜漂着プラスチック調査・清掃活動

2021年度
「大谷大学と協働！」
寄付件数

121件



祇園祭ごみゼロ大作戦

地域連携室(コミュ・ラボ)の活動費用の一部として活用させていただいています！

大谷大学では、学生が地域連携活動等を通して地域の課題を学び、社会貢献に積極的に取り組んでいます。

【寄付手順】

※税額控除の対象となります。詳しくは京都市担当部局まで。
※京都市にお住まいの方には、返礼品は送付できません。

1 京都市指定のふるさと納税受付サイトから申し込み

(2022年5月1日現在)

ふるさとチョイス

楽天のふるさと納税

さとふる

ANAのふるさと納税

ふるなび

G-Call

2 京都市からの返礼品を選ぶ

【返礼品の例】 西陣麦酒 クラフトビール醸造

社会福祉法人「菊鉾会」

本学卒業生が醸造しています



本学卒業生が代表を務める福祉事業所。社会学部志藤ゼミと茶葉を使った「まんまびーア！」も共同開発しています。



3 寄付金の使い道を指定 「大谷大学と協働！」

お問合せ先

● 大谷大学の地域連携活動について
大谷大学 地域連携室
TEL 075-441-8015



大谷大学 地域連携

● 京都市ふるさと納税について
京都市行財政局 ふるさと納税担当
TEL 075-222-3044



京都市 ふるさと納税寄付金

**部活
紹介**

～大谷大学新聞社～



大谷大学新聞社は、もう少しで100周年を迎えるほど歴史の長い団体です。学生が大谷大学での生活をより有意義かつ楽しむことができるような情報発信を心がけています。

大谷大学新聞社が発行している『大谷大学新聞』は、歴代の先輩方が発行し続けていたものですが、2020年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響でしばらく発行を停止していました。現在も、新型コロナウイルス感染状況はおさまって

おらず、なかなか思うような活動ができていない状況ですが、2022年度からは『大谷大学新聞』の発行を再開したいと考えています。

しかし、この2年間、実質活動を自粛していたため、先輩方と一緒に活動できる機会がほとんどありませんでした。そのため、これまでの活動状況を把握できておらず、今までと同じ活動を続けることはとても困難な状況です。ただ、この状況は過去に縛られず自分たちの新たな活動を自由に始めるチャンスでもあります。

新たな取り組みとして、2022年度からの大谷大学新聞社では、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を積極的に活用して活動していく予定です。大谷大学の学生がキャンパスライフをより楽しむことができるような情報をTwitterやInstagramで発信し、活動の幅を広げて、オープンキャンパスの情報発信などにも取り組んでいきたいと考えています。

是非、大谷大学新聞社公式SNSをチェックしてみてください。
大谷大学新聞社 主幹



【自分を見つめる。“Real”を見つめる。】
OPEN CAMPUS 2022



7.3 SUN

8.6 SAT

8.7 SUN

9.4 SUN

2023.
3.19 SUN

いずれも
[午前] 10:00-13:00
(受付 9:30-)
[午後] 13:40-16:30
(受付 13:00-)

*詳細は大学 Web サイトをご覧ください。

大学説明会

入試対策

個別相談

ミニ講義

来場型&事前申込制 : 入試対策講座

オープンキャンパスに参加するには
日程ごとに事前申込が必要です。
[午前の部][午後の部] いずれかに
お申込みください。



10/16(日) 公募制推薦入試対策
(模擬試験と解説)

12/18(日) 一般入試対策
いずれも 9:30~15:30
(模擬試験と解説)

goods

大谷大学オリジナルグッズ

購入を希望される方は、大谷大学内Yショップまで、ご連絡ください。
地方発送等も承ります(送料別)。

- ハッ橋詰め合わせ
(16パック・48枚入・大箱)
1,080円(税込)
(賞味期限：約4ヶ月)
- ハッ橋詰め合わせ
(6パック・6枚入・小箱)
270円(税込)
(賞味期限：約4ヶ月)
- 三笠
(粒あん3個・抹茶あん2個入)
1,080円(税込)
(賞味期限：約2週間)
- オリジナル珈琲(10袋入)
1,200円(税込)
(賞味期限：約1年)
- 瓦煎餅(6パック・12枚入)
600円(税込)
(賞味期限：約4ヶ月)
- オリジナルピンバッジ
800円(税込)

Yショップ 営業日：授業期間中の8：00～18：00(※土・日・祝を除く)
〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学内 TEL 075-432-7277(直通) E-mail aim2341@aimservices.co.jp

goods

同窓会オリジナルグッズ

購入を希望される方は、大谷大学同窓会本部まで、電話、E-mail、FAX又は郵送にてお申込みください。
地方発送等も承ります(送料別)。

- オリジナル名刺入れ
定価 3,000円
→旧大学ロゴ使用のため、
300円(送料別)
- オリジナルブックカバー
定価 3,000円
→旧大学ロゴ使用のため、
300円(送料別)
- オリジナル念珠・念珠袋
男性用・女性用
各3,000円(送料別)
- その他グッズもあります。
同窓会ホームページ「無盡燈」
をご確認ください。



http://www.mujiinto-otani.org/use_facilities/index.html

大谷大学同窓会本部 〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内
TEL 075-411-8124 FAX 075-411-8157 E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

goods

ミュージアムグッズ

博物館が所蔵している貴重な資料をデザインしたグッズを販売しています。各種行事等にご利用ください。
地方発送等も承ります(送料別)。下記以外にもグッズの種類は多数ございます。
詳細は大学ホームページで確認ください。http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

- クリアファイル
左より：貝葉布、延寿命除苦観音菩薩像(敦煌画模本)、
燈指因縁経(神護寺経)、尋源館をデザインに使用
1枚 150円(4種類お買い上げで500円)
- ミニタオルハンカチ
打敷をデザインに使用 1枚 400円
(2枚以上お買い上げで、2枚目から350円)
プレゼント包装にできます
(ケース 1枚 50円)
- ミニ便箋
貝葉資料を包装していた
更紗よりデザイン
赤・青 各色
1冊 350円
- トートバッグ
40cm×30cm×8cm
(中国古印をデザイン)
1個 1,500円

大谷大学博物館 〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL 075-411-8483

2022年度 大谷大学博物館 開館情報

- ▶ **夏季企画展** ^{みほとけ} **仏の諸相** ^{すがた} 会 期：2022年6月7日(火)～7月30日(土)
休館日：日曜日・月曜日 ※ただし7月18日(月・祝)は開館 観覧料：無料
- ▶ **秋季企画展** **大谷大学博物館の逸品 重要文化財『判比量論』** 会 期：2022年9月6日(火)～9月24日(土)
休館日：日曜日・月曜日 ※ただし9月19日(月・祝)は開館 観覧料：無料
- ▶ **特別展** **仏法東帰 大仏開眼へのみち** 会 期：2022年10月11日(火)～11月28日(月)
休館日：日曜日・月曜日、11月18日(金)、19日(土) ※ただし10月24日(月)・11月13日(日)、27日(日)・11月28日(月)は開館
観覧料：一般・大学生500円、小・中・高校生無料
- ▶ **冬季企画展** **京都を学ぶ(仮)** 会 期：2023年1月17日(火)～2月18日(土)
休館日：日曜日・月曜日、2月4日(土)、7日(火)、11日(土・祝) ※ただし1月23日(月)は開館 観覧料：無料

開館時間はいずれも10：00～17：00(入館は16：30まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、連絡先の提出や健康観察等のご協力をお願いいたします。詳細は大谷大学博物館ホームページにてご確認ください。

大谷大学博物館 〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL 075-411-8483
https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

表紙絵 「上を向いて」(部分)

170×91cm 2022年作

自分が正しいと思っても間違ふこともある。間違ふを知れば直したらよいのである。何事も自分に置き換えて考える精神を持とう。殴られれば痛い。刺され、撃たれれば血が流れ死に至る。小さなことも大きなことも、よく考えて行動すべきである。現代のバーチャルの映画やゲームにはそれが無いことが恐ろしい。

私は前を向いて生きてきたように思う。うしろ、過去の苦悩と失敗と悲泣、そして耽溺があり今が在る。過去を消し去ることは出来ないが、それを引きずるのではなく、今を知り大切に生きることが仏の教えである。耐え忍び、世俗のことがらに触れても、人の心が動揺せず、憂いなく、汚れを離れ安穩であることが幸せであると説かれている。

生きることもなかなか難しい。世界は独裁者のために戦争を起こしてきた。仏教者は他の識者の非難を受けるような下劣な行いを決してしてはならない。一切の生きとし生けるものは幸福であれ、安穩であれ、安楽であれと願う。なんびとも他人を欺いてはならない。たとえどこにあって他人を軽んじてはならない。悩

まそうとして怒りの想いを抱いて互いに他人に苦痛を与えることを望んではならない。そして仏教徒としての基本は、自ら殺してはならない。また他人をして殺さしめてはならない。また他の人々が殺害するのを容認してはならない。世の中の強剛な者どもでも、また怯えている者どもでも、全ての生きものに対する暴力を抑えて――。

じっとしているのではない。暴力に対して否定の意志をはっきりと表現すべきである。新型コロナウイルスに関しては気をつけて生活するしかなく、その結果は人心の及ぶところではない。我が身に置き換えて戦争を起こさないように願い、意志を示そう。

これからは前を向くのではなく、向上する心を求めて上を向いて生きていこうと思うこの頃である。同窓生もまた逝く人も多いが、それは世の常である。新しい同窓生も増えている。この仏教精神の灯を絶やしてはならないと切に思っている。

畠中 光享(1970年度文学部卒)

日本画家 インド美術研究者

2022年6月13日発行

発行 大谷大学同窓会本部

編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内

TEL (075)411-8124 FAX (075)411-8157

E-mail : kouyu@sec.otani.ac.jp

同窓会ホームページ <http://www.mu jinto-otani.org/>

『無盡燈』の題字について 親鸞聖人の真蹟の坂東本『教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈というのは、譬えば一つの燈をもって百千の燈をともしようなものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることがない。…説かれた教えのとおりにみずから一切の善いことながらを増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。

ホームページ「無盡燈」毎月1回更新!

大谷大学同窓会



ホームページやSNSでは、同窓会の活動や同窓生の活躍、母校「大谷大学」の現況などの情報をタイムリーに発信しています!